

KISC 11

2024
November

Kagoshima Industry Support Center



ビッグファイブの
生餃子は
家族を思う
「まごころ餃子」。

カンタン・美味しく・元気に!!

ぎょうざの
ビッグファイブ

鹿児島が生餃子専門工場

株式会社ビッグファイブ

代表取締役社長 川原 健司 さん

今号の表紙

食卓のまんなかに、まごころ餃子。
餃子のビッグファイブ



生餃子の直売所を併設する本社・工場

株式会社ビッグファイブ

代表取締役社長 川原 健司

<企業概要>

所在地 鹿児島市東開町4-74
設立 1995年6月
従業員数 33名
事業内容 業務用生餃子・小売用生餃子の製造・販売、業務用生餃子のOEM(相手先ブランドの生餃子製造)
TEL 099-210-2002
FAX 099-210-2005
URL <https://bigfive-shop.com/>
E-mail kurobuta@bigfive.co.jp

今号の表紙は、鹿児島市東開町で「生餃子の専門メーカー」として餃子の製造販売を行う株式会社ビッグファイブ代表取締役社長の川原健司さんです。

同社は、先代の代表取締役、現副会長の政田久子さんによって、1991年に鹿児島市荒田でピザと餃子を販売する「ピザファイブ」として創業されました。

「ファイブ」は久さんがシングルマザーとして育てた5人の子供に由来しています。

創業当初は、ピザ宅配が業務の中心になっていたようですが、中華独自の味付けを加えて製造販売した餃子が評判を呼び、餃子の卸売が事業の柱となった1995年に「有限会社ビッグファイブ」が設立されます。

社名の「ビッグ」には、会社を大きく成長させること、5人の子供が大きく育つことへの両方の思いが込められています。

県内産黒豚のブロック肉や、国産にこだわった質のよい野菜を使用した「黒豚餃子」は全国的に売り上げを伸ばし、鹿児島市小野町への工場移転を経て、2002年に現在の鹿児島市東開町へ本社・工場が移されています。

未加熱の「生」餃子だからこそ出せる味わいにこだわり、南九州産を中心とした素材を使って、餃子の皮も含めた自社一貫生産が行われ、期間限定のコラボレーション企画商品や相手先ブランドの生餃子の製造も行われています。



◇餃子づくりへのこだわり

工場では、業務のIT化、カイゼン活動が積極的に行われています。

かごしま産業支援センターのカイゼンインストラクターの指導を受けて会社ぐるみでカイゼン活動に取り組み、令和2年度には「食品関連産業カイゼン活動取組優秀社」として知事表彰を受賞されています。

川原社長は「生産性を上げるための課題が明確になり、業務の数値化、見える化を進めたことで、感覚に頼った場当たり的なものだった生産計画を中長期的なサイクルで作れるようになった。業務を平準化し、効率的な人員配置ができるようになっただけでなく、社内のPDCAサイクルがうまく回るようになり、経営品質の向上につながった。」とおっしゃいます。

今年度は、当センターの「ものづくり経営者育成塾かごしま」にも参加されており、「ものづくり企業の最先端の取組や異業種との交流から大いに刺激を受けた。」とのこと。

川原社長は、「鹿児島ぎょうざ協議会 チーフ餃子オフィサー」としてイベントの開催やメディアへの情報発信など、地元産食材や食文化を盛り上げる活動に、積極的に参加されています。

暖かさを感じさせるオレンジ色のイメージカラーや「食卓のまんなかに、まごころ餃子。」というタグラインからも、「おいしい餃子を全国の皆さんに食べてもらいたい」という創業者の思いを引き継ぎ、一家団欒を大切に、応援したいという川原社長のメッセージが伝わってきます。

【2020年4月KISC会員加入】

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 鹿児島県よろず支援拠点 支援事例
- 5 プロフェッショナル人材戦略拠点
- 6 取引振興コーナー
- 7 わが社の輝く女性 株式会社コーセン 上村 彩香 さん
- 8 応援します！中小企業の経営革新
- 10 特集 令和5年度主要事業の支援事例紹介
- 13 特集 食品関連製造業「カイゼン」活動強化支援事業 支援事例紹介
- 14 会員企業PRコーナー
- 16 広告



私の 思い



鹿児島県商工労働水産部長
北村 貴志

広島県出身
2007年3月 東京大学大学院公共政策学
国際公共政策専攻修了後、同年4月に経
済産業省入省。
経済産業省商務・サービスグループ政策
企画委員や資源エネルギー庁電力・ガス
事業部政策課総括補佐、在インドネシア
大使館一等書記官などを歴任し、資源エ
ネルギー庁東京電力福島第一原子力発電
所事故廃炉・汚染水・処理水対策官のポ
ストを経て、2024年6月より現職

中小企業等の「稼ぐ力」の向上に向けて

中小企業の皆様には、県政の推進につきまして、日頃より格別の御理解、御協力を賜りますとともに、本県の商工業の振興に貢献していただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

商工労働水産部長として6月に着任しましたが、鹿児島県は、奄美・徳之島・屋久島の世界自然遺産や代名詞でもある桜島などの雄大な自然、来年10周年を迎える明治日本の産業革命遺産など歴史や文化、各地名産のおいしい食など多くの魅力があり、ホスピタリティ溢れる鹿児島の皆さんからは、人の温かさを感じております。

鹿児島には世界へ売り込んでいける魅力があり、その魅力を「稼ぐ力」へと変えていけるよう、しっかりと取り組んでまいります。

さて、我が国は、本格的な人口減少や少子高齢化の進行、不安定な海外情勢による物価の高騰、グローバル化やデジタル化の進展、カーボンニュートラルの実現など大きな変革期の中にあります。これらへの様々な対応が求められている中、こうした状況に的確に対応しつつ、魅力ある本県のポテンシャルを最大限に活かしながら、将来を見据え活力ある社会を形成していくことが重要です。

そのためには、生産性と付加価値の向上による産業競争力の強化を図るとともに、将来を担う新たな産業の創出などに取り組み、鹿児島の「稼ぐ力」の向上を図っていかねばなりません。

県においては、中小企業におけるDX化、AI・IoT等の導入による自動化・省力化の取組などへの支援を行ってきており、今年度は主に関連する4つの事業について約10億円の予算を確保し集中的な支援を実施しております。

一方で、県内企業の大半を占める中小・小規模事業者は、原油価格・物価高騰や賃上げ等の影響

を受け、厳しい経営環境に置かれており、あわせて、賃上げを行いやすい環境を整備していくことも重要です。本県中小企業支援の拠点であるかごしま産業支援センターをはじめとする支援機関などとも連携し、地域の企業に寄り添った支援を実施してまいります。

また、スタートアップの創出・育成のため、起業家マインドの養成やビジネスプランコンテストの実施などにより機運の醸成を図るとともに、研究開発や実証事業、設備投資等への支援など、集中的かつ継続的な伴走支援を実施してまいりました。引き続き、地域経済を牽引する企業やスタートアップの育成はもとより、宇宙・ドローンなどの成長分野への進出支援、県産品の新たな市場開拓・販路拡大など、「稼ぐ力」の向上に向け真摯に取り組んでまいります。

さらに、産業人材の育成・確保は、喫緊の課題となっており、各産業分野における人材の確保・育成を始め、若年者等の県内就職の促進、本県への移住・交流の促進に積極的に取り組んでまいります。また、地域経済を支える貴重な人材としての外国人材の受入についても、引き続きベトナムとの交流を促進するとともに、フィリピンやインドネシア等との関係構築を図ってまいります。

これらの取組を通じて、「稼ぐ力」をより一層引き出し、地域経済の好循環を高め、本県の持続的発展を図ってまいりたいと考えております。

これからも、かごしま産業支援センターと密接に連携しながら、中小企業の皆様の様々な事業展開への支援を通じて、本県経済の発展や雇用創出につなげていきたいと考えております。

今後とも、本県と同センターの各種事業等の積極的な御活用をお願い申し上げますとともに、皆様方の御発展・御活躍を心よりお祈りいたします。



鹿児島県よろず支援拠点 支援事例



【離島支援】島の宝・奄美黒糖焼酎の黎明期を語る酒のブランディング

町田酒造では、前身となる石原酒造の初代杜氏・石原タカが最後に仕込んだ原酒『住の江(すみのえ)三十六年貯蔵』の発売に向け動いていた。数量限定500本、価格は1万5千円。ブランド価値を伝える為の「言語化・明文化」に、社内の人間だけでは限界があると感じ、言葉のプロによる支援を求め、当拠点への相談に至った。同社は離島にあるため、オンラインによる伴走支援を提案。課題抽出に始まり、商品コンセプト、開発プロセス、ラベルデザインの作成と順調に進む中で、高価格商品の価値に見合った「ブランディングに繋げる言葉」の作成が要になると分析。ブランドサイトの構成と言語化、テキスト作成のほか、パッケージデザインの商品説明文の作成なども自社で対応できる内製力強化も課題だと整理した。継続支援では、商品に関する言語化・明文化の支援が求められた。同社の歴史、商品の誕生



背景、ラベルデザインの秘話など「素晴らしい過程も明文化しなければ無いのと同じ」との考えから、壁打ちを行いながら必要なキーワードを引き出して言語化し、書き方の技術指導も行った。「奄美黒糖焼酎の黎明期を語る酒」であるからこそ、重厚感のある文表現を提案。ChatGPTによる添削も活用し、相談者が納得するまで、価値を伝える言葉へと磨き上げた。ブランドサイトの製作にあたり、ランディングページのデザインや外注するWebデザイナーへの修正指示の方法などもアドバイスした。

2024年3月1日の発売から3か月で、350本以上の注文を達成。当初の目標注文数を100本程度と想定していたが、大きく上回る成果となった。在庫数は半年で数えるほどになり、前倒しで次年度500本の生産出荷体制を整えることとなった。2050年頃まで段階的に製造・販売を行う計画の本商品は、2027年まで毎年500本の数量限定発売を予定している。『住の江』ブランドを飛躍させた転換期となる大事な一年となった。



町田酒造株式会社

代表取締役 平島 将 (ひらしま しょう)
☎ 0997-62-5011
〒894-0105
鹿児島県大島郡郷町大勝3321番地
<https://satoake.jp/>

【相談者の声】

人員不足による社内的なマンパワーを補うため、外部支援を求めて依頼を行った。社内に足りていないと感じていた「想いの言語化」では、よろずコーディネーターの支援によって、商品開発での言葉の伝え方・魅せ方を理想通りに具現化することができた。価値ある商品を消費者に伝える(表現する)プロセスの学びも、成果と共に実感した。

【支援のポイント】

- ・企業と商品を相談者のレベルで理解し共感
- ・価値ある中身を体現する文章とデザイン
- ・ブランディングにはまず言葉が欠かせない
- ・専門知識の先読みが相談者の自走力を高める
- ・離島支援の地理的不利性をオンラインが解消

鹿児島県よろず支援拠点 **江副 佑輔**
コーディネーター



感情から勘定へ ～年間売上が前年比3倍に～

休耕茶畑の茶の実をはじめ、種子島で採れる種子の実を原料とした加工品の製造・販売による6次産業化を目的に、女性5名で工房を立ち上げた。起業のノウハウがなかったため、西之表市役所で知った当拠点の相談会に参加したことから支援が始まった。県の農業支援補助金を活用し商品開発には成功したが、売上や利益目標が明確に設定されておらず、コスト管理も不十分であった。価格設定は市場のニーズに適合しておらず、赤字になっていた。令和5年度初頭には400本もの在庫が残り、廃棄のリスクに直面。事業戦略を立てたうえで事業計画を作成するなど、経営改善に取り組むことが不可欠であった。このため、はじめに価格設定の見直しを行い、コスト分析を基に適切な価格を提案。その上で価格転嫁の実施に向けた具体的な手



順を示し、事業の収益性を高めるためのサポートを行った。コストの考え方と数値のまとめ方については、新製品を開発する時にも生かせるよう、詳細に指導した。さらに、ターゲットを明確にするとともに、商談会後の対応フローを整理し、問合せに対するテンプレートを作成したことで、バイヤー等への迅速かつ確実な対応が可能となった。地域資源を生かしたいという強い思いで作った商品を、勘定面から分析しながら支援事業者にも納得いただけるよう、販売促進の支援を続けた。この結果、商品ラインナップは9種類まで拡充、50～60代女性のリピーターが増加し、地元マルシェや商談会での販路拡大に成功。都市部からも問い合わせが来るようになり、年間売上本数は前年度比で3倍に達した。在庫の循環も促進され、今後はネット販売や都市部商談会への出展を計画している。



種子の実オイル工房

代表 日笠山 昭代 (ひがさやま あきよ)
☎ 0997-22-9181
〒891-3222
鹿児島県西之表市国上3861-7
<https://tanenomiioil.com/>

【相談者の声】

離島では、支援を受けられる機会も、頼れる人も少ないので、よろず支援拠点のサポートに非常に助けられた。また、当拠点のリレー支援では、一人ではなく多様な専門家から包括的にサポートを受けられたことも、とても心強かった。

【支援のポイント】

製造コストや人件費を正確に反映させた価格設定の重要性を指導し、価格転嫁の実施を支援。マーケットインの分析のやり方は今後の商品開発にも活かされ、自走できる状況になった。

鹿児島県よろず支援拠点 **湯目 由華**
コーディネーター



プロフェッショナル人材戦略拠点

人材不足の今、企業の頼もしい味方

◇プロ人材564件（うち副業・兼業73件）の成約！

県内企業の成長発展を人材面からサポート。お気軽にご相談ください。

皆様、プロ人材確保でお困りではありませんか？

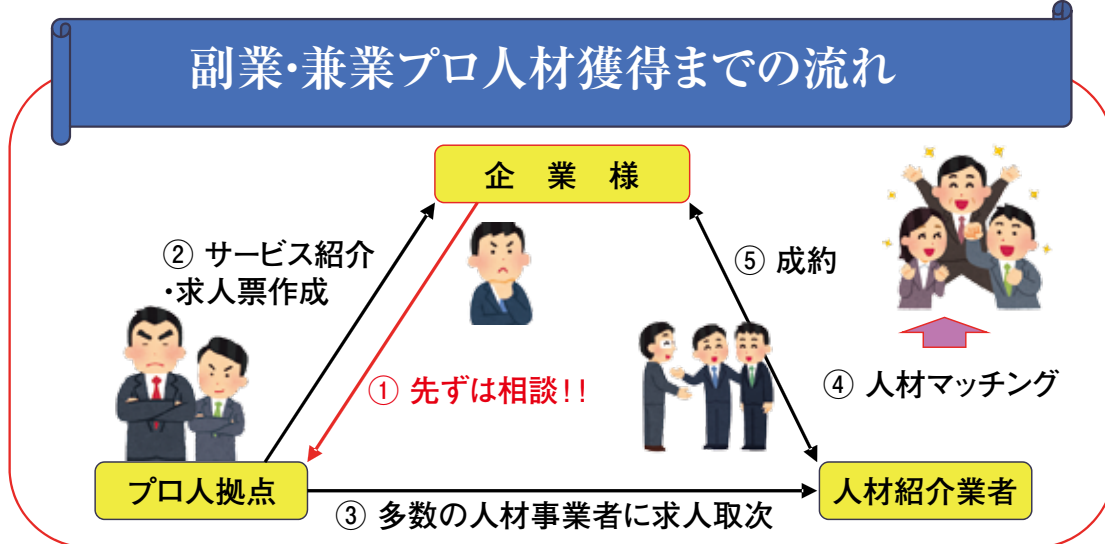
- ☑ 会社を成長させる人材が欲しい
- ☑ 新たな事業を展開できる人材が欲しい
- ☑ マーケティングができる人材が欲しい
- ☑ 自社産品をPR・ブランディングしてくれる人材が欲しい
- ☑ 経営を補佐する次世代人材が欲しい、等々・・・

当拠点では、県内企業の皆様に対し、経営や専門、即戦力等に即応できる人材の採用・獲得に向け、マッチングをサポートしています（登録人材紹介事業者は20社以上！）。副業・兼業人材の活用促進も始めており、LION（株）、KANAMEL（株）等、大企業の多彩・有能な社員の方々の副業促進にも共働して取り組んでいます。

副業・兼業人材活用は、皆様にとって① 問題解決の即戦力、② 低コスト、短期間活用が可能、③ 既存社員の意欲・スキルの向上など多くのメリットがあります！！特に、経営上様々なデジタル化の推進が待ったなしの状況である中、その対応策の一つとして副業・兼業人材の活用は有効な手段です。

当拠点では、平成28年1月の開設以来、564件（人）（うち副業・兼業人材73件）のプロ人材の採用成約を実現！（令和6年10月末現在）。活用分野は、経営管理、販路・事業分野拡大、生産性向上、研究開発など多様。

副業・兼業プロ人材獲得までの流れ



プロ人材の採用や副業・兼業人材の活用マッチングをサポートしている当拠点に、気軽にご相談ください。

☎ 099-219-9277

「プロフェッショナル人材戦略拠点」

人材戦略マネージャー	木場 信人
サブマネージャー	本 一郎
人材活用支援専門員	野元 慶一
人材活用支援専門員	有村 吉弘
人材活用支援専門員	塩屋 文和

◇（公財）かごしま産業支援センター
 鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点
 TEL：099-219-9277 FAX：099-219-1279
 E-mail：projinzai@kisc.or.jp
 URL：https://www.kagopro.jp/





取引振興コーナー



取引振興課では、展示会での県内企業 PR、取引商談会の開催、発注ニーズをもつ企業からの依頼等により、受発注企業の取引あっせんを行っています。

★取引あっせんの実施状況と効果

【令和4年度における取引あっせん案件

～1年後も約6割が取引継続、取引金額は当初の8倍強に！】

令和4年度は304件の取引あっせんを行い、68件、34,619千円の取引が成立しました。
1年後の状況を調査したところ、取引が継続しているものは42件、金額は当初の8倍強に拡大していることがわかりました。

あっせん時【R4年度】

◆取引あっせん 304件
◆成立件数 68件
◆初回取引金額 34,619千円

1年後【R5年度】

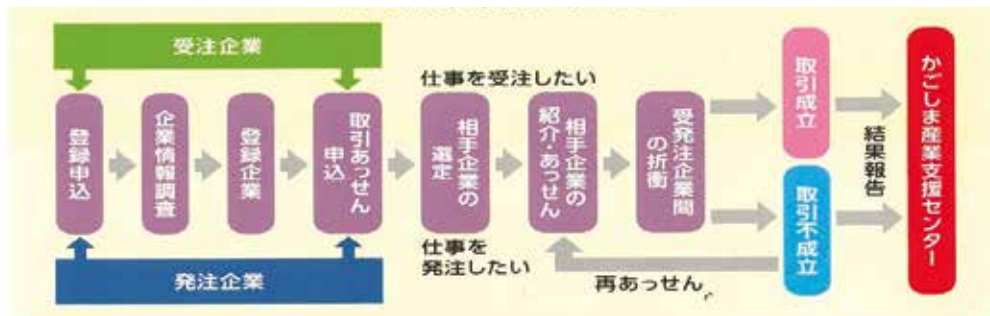
◇取引継続件数 42件（約6割）
（初回取引金額 14,879千円）
◇継続取引金額 128,819千円（初回の8倍強）



今後も、継続される取引を目指して、取引の拡大や新たな販路拡大に貢献していきます。

【取引あっせんのしくみ】

※あっせんを行うために登録手続き（無料）をお願いします。



★令和6年度かごしま取引商談会開催のご案内

県外の発注企業等を招へいし、県内の受注企業と商談を行っていただく「かごしま取引商談会」を開催しますので、新規取引先の開拓にご活用ください。

商談会の詳細や参加申込方法については、当センターのホームページをご確認ください。

【日時：令和7年1月21日（火）13：00～ 会場：ホテルウェルビューかごしま】

問合せ先 取引振興課 TEL：099-219-1274

わが社の輝く女性！

今号でご紹介するのは、鹿児島県大隅半島産さつま芋（紅はるか）の干し芋・焼き芋や、天然葛粉を使った葛菓子等を製造している株式会社コーセンで、工場長として活躍されている上村彩香さんです。

株式会社 コーセン

所在地：曽於郡大崎町永吉1111-2

設立：1990年8月

従業員数：17名（パート含む）

事業内容：食料品製造業（紅はるか干し芋・焼き芋、葛菓子、業務用缶詰等）

T E L：099-476-1745

F A X：099-476-4496

U R L：<https://ko-sen.jp/>

E - mail：r.yoshidome@ko-sen.jp

かみむら あやか
上村 彩香 さん

工場長

しし座

城西プロフェッショナル

カレッジ 調理科卒

2012年入社



◆会社紹介

鹿児島県大隅半島の自然に包まれた大崎町で、地元の自然の恵みである、さつま芋（紅はるか）、天然葛粉、筍などの食材を使った加工商品を製造しています。

他社に先駆け（2013年）、紅はるか干し芋の製造を手掛け、契約するさつま芋農家と連携してやわらかく甘い干し芋を商品化しました。



また、1996年に葛もちプラントを設置して大隅半島産の天然葛粉を使った、もちり食感の葛もちや葛きり、わらび餅を製造しています。

やわらか過ぎない粘り強いもちり感を出すために専用窯でじっくりと練り上げています。

地元産の筍は朝採りのものを即時蒸しあげ・冷却処理で美味しい蒸し筍商品に加工するなど、地元の食材をメインに食材の美味しさを引き出した製品づくりを心掛けています。

大隅半島産の原材料でつくった美味しい食品を全国のお客様にお届けすることは、地元の生産者の皆様への利益還元になるばかりか、生産された食材を無駄なく消費することで、SDGsな社会づくりにも貢献できると考えています。

地元食材の生産者とは食材の高品質化の情報交換を定期的に行い、より美味しい製品作りに向けて最新の栽培方法や加工方法を学習しながら共にレベルアップを心掛けています。



干し芋



焼き芋

◆会社での現在の担当部署は

3年前より工場長として業務に従事しています。
主な業務内容は、在庫管理・出荷の段取り・製造指示・資材発注・パートのシフト組などです。

◆入社のきっかけは

もともと調理師として他社に在籍していましたが、父親が現在の職場で働いていたこともあり、父親の紹介で入社しました。

◆仕事上での印象深い体験談など

パートタイマーの方々のシフト組をしていて大変でしたが、その方達と多くコミュニケーションをとる機会が増え、より打ち解けることができたことが印象に残っています。

◆ものづくりに対する思いや心がけていることは

お客様に喜んで頂けるよう、しっかりとした商品づくりを心掛けるようにしています。

◆会社への思いや抱負について

今以上に効率よく、クレームを未然に防げる体制を整え、新規のお客様を増やしていけるようにがんばります。

これからも生産者とお客様を美味しい製品でつなぐ架け橋になり、安心して信頼される会社であり、人であるよう日々精進していきます。

【2020年6月KISC会員加入】



葛もち



業務用たけのこ

応援します！中小企業の経営革新！

～経営者のための経営革新支援制度活用術～

- 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取組を支援しています。
- このシリーズでは、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介します。



代表取締役社長 瀬戸口 正 氏

Q. 企業概要・沿革について教えてください。

当社は、昭和54年に創業し、各種業務ソフトウェアを手掛け、平成8年から「栄養給食管理、栄養指導関連」に特化したパッケージソフトウェア「カロリーシリーズ」を開発し、販売しています。ソフトウェアのバージョンアップを図りながら、全国の医療・福祉施設、給食サービス会社に向けて販路を拡大し、現在は、全国7千超のユーザー数と同業他社20社のうち全国2位のシェアを獲得しています。

機能面、品質面、価格面において、多くのお客様から信頼され、長くご愛用いただいています。

【経営革新計画のテーマ】

クラウド商品の研究開発および市場ニーズに応えるための事業革新

Q. 経営革新計画に取り組むきっかけとその内容を教えてください。

令和2年に県の「経営革新アイデア創出グループワーク」に参加したことが契機となりました。

当時は、多くのユーザーを抱える中、価格設定が安価であったため、経営基盤に不安を感じていました。また、コロナ禍による営業活動の縮小で売上が減少傾向となり、今後の企業成長のため、新たな取組の必要性を認識し、令和5年3月に経営革新計画の承認を受けました。

具体的には、主力商品の「栄養管理関連ソフト」の付加価値を高めるため、パソコンにインストールして運用する「オンプレミス型」仕様から、インターネット経由で運用する「クラウド型」仕様へ転換する新商品の開発、販売に取り組んでいます。

「クラウド型」仕様での提供により、インターネット上で場所や時間を選ばずに利用できるようになるため、お客様の利便性が大きく向上します。併せて、販売方法も「サブスクリプション型」へ変更し、システムサポート体制の強化を図りながら、既存顧客への周知・移行促進と新規顧客獲得のための営業活動に取り組み、売上高や利益を伸ばしていきたいと考えています。

トータル・ソフトウェア株式会社

<企業概要>

所在地：鹿児島市紫原3丁目21番7号

設立：昭和54年

資本金：10,000千円

従業員数：22名

業種：情報サービス業

T E L : 099-253-6041

H P : <https://www.tsc-inc.co.jp>

Q. 経営革新計画承認で活用した制度はありますか。

令和5年度に県の「中小企業経営革新支援事業費補助金」を活用し、新商品開発に向けて、技術コンサルタントの指導・助言を受け、プログラム言語等の様々な技術習得を図りました。これにより、計画で定めた研究開発期間を円滑に遂行し、概ね予定通りに新商品「フレミール」をリリースすることができました。

令和6年度も、同補助金の採択を受け、新商品の販路開拓のため、展示会への出展やWEB広告の実施等に取り組んでいます。



東京で開催された展示会の様子

Q. 経営革新計画の承認を受けて良かったと思うことは何ですか。

経営革新計画の作成は、それなりに時間を要しましたが、かごしま産業支援センターによる丁寧な支援もあり、形にすることができました。

綿密な計算を行った収支計画は、金融機関からの信用が得られ、予定した時期と金額でスムーズな融資を受けることができました。

また、技術コンサルタントを活用した際は、経営革新計画の内容に沿ってサポートを受け、時間の経過とともにみるみる成果を出すことができました。

全社一体となって新規事業の構築・運営に取り組んだ結果、専門知識と実践経験が培われ、今ではほぼ全ての部門において社内スタッフだけで自走できる見通しが立ち、売上の増加や利益率の改善に確かな手応えを感じています。

■経営革新計画■

新商品の開発・生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

- 【承認基準】 ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取組であること。
②付加価値額と給与支給総額の数値目標が次のとおりであること。

経営指標 \ 事業期間	3年	4年	5年
付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費）	9%以上	12%以上	15%以上
給与支給総額（役員報酬＋給料＋賃金＋賞与＋各種手当）	4.5%以上	6.0%以上	7.5%以上

※法改正に伴い、令和3年8月2日より、経営革新計画の対象者等が変更になりました。

対象者：中小企業者→特定事業者へ（各業種毎の従業員数範囲の拡大及び資本金要件の撤廃）

※詳細は、県ホームページでご確認ください。

<https://www.pref.kagoshima.jp/af02/keieikakushin/shienseido.html>

【支援策の内容】 ①日本政策金融公庫による低利融資 ②信用保証の特例 ③県補助金 など
【問合せ先】 鹿児島県中小企業支援課 中小企業支援係

TEL：099-286-2944（直通）、FAX：099-286-5576、E-mail：shien@pref.kagoshima.lg.jp

経営革新計画承認手続きのフロー

支援措置に関する支援機関への事前相談及び事業実施に必要な要件等の充足

- ・ 計画の承認は支援措置を保証するものではありませんので、県への相談と併せて該当する支援機関にも事前に、相談してください。
- ・ 事業実施に必要な要件の充足のため、各種営業許可や各種規制等への条件整備等について、該当する行政機関等に事前に相談してください。

県庁中小企業支援課への問合せ・相談

対象者の要件、経営革新計画の内容、申請手続・窓口、支援措置の内容等ご相談ください。

【経営革新計画の申請・相談窓口】

県庁中小企業支援課中小企業支援係
TEL：099-286-2944
FAX：099-286-5576
E-mail shien@pref.kagoshima.lg.jp

かごしま産業支援センター、各商工会議所・商工会等でも相談を受け付けています。

経営革新計画の作成に当たっては
・ 現在の事業内容
・ 新しい取組の内容
・ 既存事業との違い
・ 経営の向上を示す指標（付加価値、給与支給総額）の伸び
・ 実施計画や希望する支援策などを整理する必要があります。

必要書類の作成、準備

申請書は県庁中小企業支援課に用意しています。また、県のホームページからもダウンロードできます。
○<https://www.pref.kagoshima.jp/af02/keieikakushin/shienseido.html>
○「鹿児島県 経営革新」で検索

県及びかごしま産業支援センター、各商工会議所・商工会等では、ビジネスプランの策定の仕方、申請書の書き方等をアドバイスしています。

申請書の提出

申請書の提出先は県庁中小企業支援課（本社所在地が鹿児島県内の場合）です。
申請書提出先は申請代表者・実施主体者の構成によって異なります。

申請に必要な書類は

- ①経営革新計画承認申請書
 - ・ 様式第13
 - ・ 別表1～7
- ②補助様式1～3
- ③定款
- ④直近三期間の決算書
- ⑤残高試算表
- ⑥直近二期間の法人税確定申告書及び附属明細書
- ⑦県税に係る納税証明書
- ⑧その他参考資料
（営業許可証等の写し、パンフレット、図面、見積書など当該計画に関するもの）

経営革新計画の承認

申請受付後、経営革新計画の内容等について審査を行った上で承認となります。
承認後、フォローアップのために計画進捗状況調査等を行いますのでご協力ください。

各種支援措置の活用等

- ①県補助金
- ②低利融資
- ③信用保証の特例
- ④海外展開に伴う資金調達支援措置
- ⑤中小企業投資育成株式会社からの投資
- ⑥県制度資金による融資（新事業チャレンジ資金）
- ⑦起業支援ファンド（中小機構）からの投資 など

各支援措置は、計画の承認とは別に、該当する支援機関の個別審査を受ける必要があります。

経営革新計画の達成

計画の最終年度において、目標値が達成されている等、一定要件を満たした場合、2回目以降の承認を受ける際に、『かごしま経営革新推進企業』として県の認定を受けることができます。

特 集

かごしま産業支援センター 令和5年度主要事業の支援事例紹介

(公財) かごしま産業支援センターでは、県内中小企業の総合的な支援機関として、新事業創出、戦略的産業振興、地域資源活用、研究開発・技術、マーケティング、情報化、人材育成等の様々な支援に積極的に取り組んでいます。

今号では、令和5年度の主要事業の支援事例をご紹介します。

◇新事業創出等支援

○専門家派遣事業

創業者や中小企業等の経営、情報化、販売、マーケティング等の様々な経営相談に対応して、センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行いました。(採択6件)

企業名：(株)ステップ
所在地：薩摩川内市中郷町
5577-7
業 種：プラスチック工業部品
製造業

《テーマ》
企業理念や評価制度等の策定
及び社内浸透



《集合写真と従業員説明会の様子》

《支援内容・成果》

支援内容：①経営理念、人事考課表、賃金規程、職能給等の明確化
②評価者や経営幹部への指導、助言
③人事制度運用マニュアルの作成
④従業員説明会の実施サポート

具体的な成果：・昇進や昇格等の基準を明確にし給与水準も見直した結果、従業員の姿勢や目線に変化が見られた。課題提起や改善策など積極的に議論が行われ、工程間の連携が図られるようになった。

・管理職や人事評価者の意識醸成も促すことができた。

○新産業創出ネットワーク事業（研究開発支援）

新事業進出のために実施する新技術や新製品の研究開発を行う県内の中小企業者等に対し、研究経費の一部を補助しました。(採択4件)

企業名：環境バイオエンジニアリング(株)
所在地：始良市西餅田1638-1
業 種：その他の製造業

《テーマ》
サツマイモ基腐病の軽減に向けた微生物
資材の開発



微生物資材による基腐菌伝染防止効果
(左：感染芋、右：微生物資材塗布芋)



《微生物資材培養装置》

《支援内容・成果》

近年、サツマイモの生産に大きな被害が発生しているサツマイモ基腐病に対して、化学薬品ではない微生物を用いた防除剤の開発を支援しました。

鹿児島大学との共同研究からサツマイモ基腐病に有効な微生物を分離して、拡大培養することができました。試験圃場での実証実験では基腐病の発生率低下とサツマイモ収穫量の増加を確認し、これらの微生物や防除方法に関する特許を出願しました。

今後、微生物を高濃度に含有して、安価で使いやすい資材等を試作し販売していきます。

○新産業創出ネットワーク事業（新事業創出支援事業）

独自の技術を用いた新製品の開発や地域資源を活用した地域課題の解決に資する製品の開発等に取り組む県内の中小企業者に対し、人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を補助しました。（採択18件）

企業名：薩摩総研(株)
所在地：指宿市山川成川4165
業 種：化学工業



《テーマ》
電磁波吸収熱伝導樹脂の研究開発

《電磁波吸収熱伝導樹脂の研究開発》

《支援内容・成果》

電磁波吸収と熱対策のニーズを開発のきっかけとして、自社の熱ゴム®に電磁波吸収機能を付与した高性能な電磁波吸収熱伝導樹脂を、広く電子機器・通信機器に向けて開発するための試作・研究等を支援しました。

その後、同社は更に研究を進め、電磁波吸収機能に特化した熱ゴムの開発を行い、現在、従来からの主要顧客である大手ゲーム機メーカーとこの熱ゴムを利用した試作品（ゲーム機部品）開発等の協議を進めているところです。

※熱ゴム®：熱を伝えるシリコン系樹脂放熱シート

企業名：クラシックブドウ浜田農園
所在地：肝属郡錦江町田代麓3777-39
業 種：果樹作農業



《開発した「花瀬ワイン」》

《テーマ》
自社ワイナリー創設によるワイン醸造の内製化と製品開発・販路開拓

《自社ワイナリー内での作業》

《支援内容・成果》

ワインの内製化・量産化実現に併せて、ワイン用ブドウの産地化を図るとともに、地元や周辺地域の豊富な食材を結んだフードビジネスの展開と、隣接するバンガロー村等と連携した着地型観光の推進を将来像として見据えた事業展開に対し、人材育成やマーケティング・販路開拓等を支援しました。

ワイン醸造やワイン用ブドウ栽培、ワイナリー経営に関する専門知識や醸造加工技術を習得するとともに、低温環境下での熟成試験研究等を行った結果、令和5年度に飲食店や酒販店、卸業者等向けの試飲会（お披露目会）を2回開催することができました。

試飲会では延べ100人を超える関係者の参加があり、テレビや新聞報道等で大きく取り上げられた結果、地元鹿児島県内を中心に「花瀬ワイン」の認知度向上につながり、城山ホテル鹿児島をはじめとして県内ワインバー・レストラン等の飲食店からの注文など、販路を大きく広げることができました。

○起業支援事業

鹿児島県ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者を対象に、そのビジネスプランの事業化を推進するために必要となる費用の一部を助成しました。（採択7件）

企業名：(株)novelio（ノベリオ）
所在地：鹿児島市谷山中央4丁目142-4-2F
業 種：焼酎卸小売業



《店舗改装》



《テーマ》
鹿児島の新たな魅力『島バナナ』を世界へ～リスク分散化プラットフォーム～

《開発した商品》BASHAMU no Liqueur
「2024かごしまの新特産品コンクール」で
日本百貨店協会会長賞を受賞

《支援内容・成果》

同社は、沖永良部島等の島バナナを安定的に調達するリスク分散プラットフォーム「島バナナバンク」の運営等に取り組んでいます。今回、島バナナを活用した自社商品「BASHAMU no Liqueur」を開発販売する当たり、ブランドロゴや商品ラベル、ポスターのデザインの作成及び試供品による販路開拓活動等に対する支援を行い、商品のブランド力向上に繋げることができました。

同社では、今後はクラフトビールや冷凍ピューレの製造販売も視野に入れ、安定的なサプライチェーンを確立できるよう「島バナナバンク」の展開運営に努めたいとしています。

企業名：(株)テクレ
所在地：鹿児島市谷山中央4丁目4857-10
業 種：IT教育業

《テーマ》
鹿児島中小企業のDXを促進する、学生エンジニア
社長育成塾『デベロッパーK（かごしま）』



《整備した機器類》



《起業塾》

《支援内容・成果》

同社は、エンジニア志望の学生を対象に、実際の受注案件に携わってもらいながら実戦経験を積み、プログラミング技術の事業化に必要な知識等を習得させる起業塾を運営しています。今回、本事業の開始にあたり、新オフィスの設備や機器の購入、指導教材の開発等を支援し、開発用オフィスの新設や、IT開発に特化した起業塾のオープン及び起業支援サービス体制の構築に助力することができました。

同社は、若者の起業意識を後押しすることを目的に、引き続き、地域のITリテラシーの向上と鹿児島のIT産業の底上げに努めたいとしています。

◇地域資源活用支援

○魅力ある食品開発支援事業

本県の地域資源である良質で豊富な農林水産物を活用し、機能性表示食品やハラル認証食品等に向けた付加価値の高い食品の研究開発や商品開発に要する経費の一部を助成しました。（採択1件）

企業名：(有)エール
所在地：指宿市開聞十町129-2
業 種：その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業



《原料オクラ》



《抽出した水溶性食物繊維の試験サンプル》

《テーマ》
鹿児島県産オクラ由来水溶性食物繊維の抽出

《支援内容・成果》

規格外品のオクラを活用した「オクラ由来水溶性食物繊維」に関する研究開発を支援しました。

従来のオクラパウダー（乾燥粉末）は関与成分の含有量が少ないために、1日の摂取目安量が多いという課題がありました。このため、少ない量で同等の効果が得られるよう、関与成分を抽出する方法や抽出条件等の検討と乾燥加工等を実施しました。

この結果、関与成分である水溶性食物繊維を低コストで抽出する方法等が掴めたため、今後は量産化に向けた製造方法を確立して新たな製品化を目指します。

◇研究開発・技術支援

○先端技術研究開発支援事業

自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、②AI・IoTやロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等、③カーボンニュートラルの実現に向けた研究開発に要する経費の一部を助成しました。（採択2件）

企業名：日本ガス(株)
所在地：鹿児島市中央町8-2
業 種：ガス業

《テーマ》
高濃度トリゴネリンを含有する桜島
大根スプラウト商品化



《実験栽培用プラント内部とスプラウト栽培条件の検討状況》

《支援内容・成果》

桜島大根の機能性成分「トリゴネリン」を手軽に断続的に摂取できる食品として、スプラウト（新芽野菜）を商品化するための研究開発を支援しました。

培地の選定や照射条件等の検討により、商品性の高いスプラウトの栽培が可能となりました。

今後は、栽培したスプラウトの機能性成分の分析やトリゴネリン以外の有効成分の検討など、付加価値を高める研究や検証を継続して販売を目指します。

特 集

食品関連製造業「カイゼン」活動強化支援事業
支援事例紹介

- 当センターでは、食品関連製造業者に対して、カイゼン活動による効率的な生産現場作りをより一層推し進めることで、資金・人材面等の経営資源への効果等が高まり、さらなる新商品開発や販路開拓への取組などによる経営革新や経営基盤の強化につながるよう支援する事業を実施しています。
- 今回は、この事業を活用しカイゼン活動に取り組んだ事例を紹介します。

事例 生産性向上等による利益創出

(さつま麺業株式会社)

◆課題◆ 5S、生産性向上、多能工推進、生産管理等

さつま麺業株式会社は、県内で食事処やラーメン店を展開しており、各店舗で必要となる麺や、スープ、各食材は、基本的に本社で製造し、配送しています。

今まで製造の中心的役割を担っていた社員が退職したこともあり、改めて製造業務全般の見直しを行いたいとの支援要請を頂きました。



◆支援◆ 製造現場のムダ把握からの改善

- 5S（現場事務スペースを含む、整理・整頓が中心の改善）
 - ・カイゼン前…各所に使われていない道具、本来の場所に置けない仕入品、無理な姿勢を強いられる棚、不動在庫のある冷凍庫など、整理が必要な物が多数あった。
 - ・対応策…関係者全員で、現場確認を実施、課題抽出と対応策を検討し、移動もしくは廃棄を断行した。
 - 【成果】・粗大ゴミ廃棄：軽トラック7台 不用品廃棄：90ℓゴミ袋40袋
冷凍庫の整理：冷凍庫稼働を1台停止（年間電気代約100万円削減）
 - 【今後の課題】整頓状態を維持するため、定期的な現場確認
- 麺の湯がき後の小分けライン生産性カイゼン
 - ・カイゼン前…麺の湯がき後、急速冷凍前に重量を計測しながら小分け作業を行うが、240食分を3名で1時間要していた。（人時生産性：80食/h）
 - ・対応策…小分け作業（その後、急速冷凍あり）に時間を要することは、麺の品質にも影響があるため、湯がき後の重量計測の自動化が必須と判断し、玉取り機（装置名）を導入した。
 - 【成果】・240食分を1.2名、0.5時間で対応。（人時生産性：400食/h）生産性5倍。
年間労務費が120万円強削減された。麺の品質も安定した。
 - 【今後の課題】小分け後の急速冷凍作業及び、その後の店舗配送用包装作業の生産性改善
- 生産計画の見える化
 - ・カイゼン前…作業者は、都度、責任者からの口頭指示で作業を行っていたため、責任者の負担（発注・在庫確認等を含む）が大きく、時には、作業者の手待ちも発生していた。
 - ・対応策…過去の製造内訳書情報から商品毎の所要工数を拾い出し、情報のなかった商品は聞き取りと実測で所要工数を拾い出し、更に、製造可能者を把握し、作業者の勤務計画を考慮した4週間先までの生産計画を掲示した。
 - 【成果】・作業者の月間負荷率は70%程度であったが、対策後、80%以上を達成した。
結果として人時生産性が向上し、年間労務費が270万円程度削減された。
 - 【今後の課題】今回、生産計画対応できなかったカテゴリーへの展開

さつま麺業株式会社

代表取締役会長 山下大介

所在地：鹿児島市谷山港2丁目2-21

創業：1968年2月

従業員数：150名

事業内容：「麺どころさつま」、「がんこ庵」、「仏跳麺」の店舗運営

TEL：099-261-5557

URL：https://satsuma-mengyo.co.jp

カイゼンインストラクターから



温水 洋一

今年度は、5S及び生産計画・設備導入がメインの活動で成果を出すことができました。

支援の現場は「ひと味美味しい商品」を店舗に供給する重要な役割が与えられています。店舗では手間がかかり過ぎる食材を本社で製造しているため、手間がかかるイコール製造中のムダが発生しやすい環境にあります。今後は、製造手順視点からムダについてのカイゼン活動への取組にも期待します。

【お問い合わせ先】（公財）かごしま産業支援センター 総務情報課 TEL：099-219-1275

会員企業PRコーナー (KISC 会員限定)

事業案内、商品案内、新製品紹介等
会員企業の営業活動を支援します！

田苑酒造株式会社

<https://www.denen-shuzo.co.jp>

世界を酔わす、スピリッツがある。

◆創業1890（明治23）年。薩摩川内市に本社を置く。「長期貯蔵」「音楽仕込み」「技術力」をキーワードに、創業以来新たな価値を創り続けています。

開発に18年もの歳月をかけ、2018年に発売した『田苑 ENVELHECIDA（エンヴェレシーダ）』は、柑橘系の華やかな香りとフルーティーな味わいが特徴の全量3年貯蔵の樽貯蔵芋焼酎です。これまでも国際コンペティションで多数受賞するなど、その味わいは世界にも認められています。（ENVELHECIDAはポルトガル語で“熟成”を意味します。）



左：田苑 ENVELHECIDA 1800ml
※2024年9月発売
右：田苑 ENVELHECIDA 700ml

薩摩川内市樋脇町塔之原
11356番地1
TEL 0996-38-0345
資本金 1億円
従業員数 55名（パート含）

◆事業内容
酒類の製造及び販売



【田苑酒造
公式サイト】

【2005年5月会員加入】

キリシマ精工株式会社

<https://kirishima-seiko.jp/>

3軸マシニングセンタで5軸と同等以上の超複雑形状の加工を実現

◆キリシマ精工は、霧島市にある超精密金属切削加工メーカーです。

カテゴリとしては、光通信・半導体・自動車向けを主に得意分野としてきましたが、現在私たちが力を入れているのが、景気の波に左右されにくい医療分野（医療用部品）への新規事業展開です。

その中でも特に「手術支援ロボット」用部品は重要アイテムとして捉えており、複雑形状で要求される精度も高く難解な幾何公差への対応にも技術の粋を尽くし弛まぬチャレンジを続けています。

DXも頑張っています。



霧島市国分川原918-7
TEL 0995-73-4311
資本金 1,000万円
従業員数 50名

◆事業内容
マシニングセンタ加工を中心とし、切削での精密微細加工及び各種装置部品等を製造

【2007年5月会員加入】

株式会社 横福

<https://kaorinokuroninniku.jp>

鹿児島県にんにくを美味しく！お洒落に！元気と笑顔をお届けします！

◆にんにくの生産・製造・販売の6次産業に取り組んでいます。

鹿児島の自然（土地・水）を大事にして、おいしいものを作りたい。

召し上がる方々の安心と健康を考えながら、食卓に笑顔と幸せがある、そんなおいしさのお手伝いが横福の願いです。



Instagram
QRコード

霧島市横川町中ノ3232-1
TEL 0995-56-8327
本社 鹿児島市中山町
947-6
資本金 120万円
従業員数 6名

◆事業内容
農作物の生産・加工・販売

【2023年4月会員加入】

掲載企業募集中！『KISC 会員限定』、掲載料無料です。お申込みは下記まで

【申込み・問い合わせ先】 (公財) かごしま産業支援センター 総務情報課

TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279 E-mail : info@kisc.or.jp

株式会社 ア・トスフーズ<https://www.atusfoods.com>**レトルト加工商品、焼き菓子など作ってみませんか？** ～企画から製造・出荷までトータルでご提案可能～**◆ア・トスフーズとは**

県内の農産物や畜産物を活かした各種の惣菜加工品・特産品造りを手掛けています。

食品加工・農産物加工・レトルト食品製造のOEMでは、多くの実績より得られた技術力と提案力を活かして味付けや調理方法、加工方法を提案いたします。様々なご依頼とニーズに応じたPB商品を製造いたします。

◆地産地消の取組

弊社は、南国・鹿児島島の新鮮で豊かな食材の仕入先を確保しています。

小ロットの製造も対応しており、農産物の端材や規格外品も活用可能です。



薩摩川内市中郷町6485-7

TEL 0996-25-2643

資本金 1,000万円

従業員数 76名 (2024.5現在)

- ・中郷工場
- ・大小路工場
- ・純心大学構内食堂

◆事業内容

野菜一次加工、惣菜加工、食肉加工、レトルト食品製造、OEM、水産惣菜加工、菓子製造業、惣菜製造販売、学生食堂、野菜販売 他

【2023年5月会員加入】

株式会社 WISH システムコンサルティング<https://wish-sc.co.jp/>**従業員のストレスを大幅に軽減し、企業の労働損失額の改善を実現します。****◆脳疲労マーカー測定分析のご案内**

企業でのストレスチェックの実施が義務化された今、従業員のメンタルヘルス不調を改善するシステムにより、パフォーマンスと生産性の向上が見込めます。

★個人のストレスレベルとその原因の特定を図り、個人個人に適した対策を立てることが可能です。

★各分野の専門家、医師等が結集し、最新の医学的エビデンスに基づいた効果の高いノウハウを凝縮したシステムです。

◆ご利用に際してご質問などがございましたらお気軽にお問い合わせください。



鹿児島市東千石町14-10

天文館 NNビル7F

TEL 099-219-7623

資本金 2,000万円

従業員数 105名

ISMS 認証取得

プライバシーマーク認定取得

◆事業内容

ソフトウェアの開発、販売、コンサルティング、HP制作、システムの運用、保守。ISO9001:2015取得

【2005年10月会員加入】

指宿酒造株式会社<https://www.riemon.com>**新商品「さいころふたつ」****◆新商品「さいころふたつ」**

日本の大衆的な卓上遊戯に使われるさいころ。

さいころの目のように、原材料の組み合わせによって様々な味わいを醸し出すことと、新たな造りにチャレンジするという意味を込めています。

炭酸割りにマッチするライトで爽やかな焼酎となっております。

そのとき、その瞬間に生まれる掛け合わせの妙をお楽しみください。



「さいころふたつ」1800ml・900ml

指宿市池田6173-1

TEL 0993-26-2277

FAX 0993-26-2278

資本金 5,000万円

従業員数 18名

◆事業内容本格芋焼酎製造販売
利右衛門、あわせ黒利右衛門を含む約25種類の芋焼酎と梅酒の製造販売をしています。

【1989年8月会員加入】

雇用の問題 お悩み解決のためのサポートをします！

早期退職を募らなくてはいけなくなりました。
従業員の次の就職先を見つけたい。

一時的に社員の仕事が
なくなってしまう。
そんな時どうすればいいの？

ハラスメント防止など社員教育に課題があり、
セミナーの必要性は感じているが、
なかなか手が回らない。

採用って難しい。
一回二回の面接では判断できない。
当社に合う方を紹介してくれたら助かるのに。

他社ではどのように
取り組んでいるのか？
他社に出向してもらって、
広い視野を持ってもらい、
当社の業務改善につなげたい。

定年を迎える社員。
能力も高く経験も豊富なのに、
引退してしまうのはもったいない。
まだまだ社会に貢献できるのに。



安心のサポート



下記の都道府県事務所にお問い合わせ下さい

産業雇用安定センターとは？



1987年（昭和62年）、労働省（当時）、日経連、産業団体などが協力して、「失業なき労働移動」を支援する公的機関として設立。以来30余年にわたり、再就職・出向などによる企業間の労働移動をサポートします。

全国の労働局・
ハローワークと連携

全国47都道府県に
事務所を設置

相談・紹介・仲介・
斡旋の費用は無料

設立以来、
25万人の再就職・
出向の支援実績

1人の求職者に一人の
コンサルタントが
マンツーマンでサポート

www.sangyokoyo.or.jp

産業雇用

検索



公益財団法人 産業雇用安定センター 鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階

TEL 099-812-9551

FAX 099-258-9101



ISO 審査

教育・研修

【品質】【環境】【安全】

ISO 審査

- ・標準文書無料提供
- ・内部監査員研修優遇
- ・県内審査員で交通費ほぼ0

地元で安心!! 審査員募集中!! ISO審査代理店

南日本審査株式会社

〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田3344-2

TEL: 0995-64-5727 FAX: 0995-64-5078

URL: www.minami-sinsa.com お気軽にご相談ください



公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center

かごしま産業支援センター

〒892-0821

鹿児島市名山町9番1号（県産業会館2F）

TEL (099) 219-1270

FAX (099) 219-1279

E-mail: kisc@kisc.or.jp <https://www.kisc.or.jp>

